



市報

よこて

No.33

2007年2月15日号

2-15

目次 Contents

特集「子育てを楽しもう」 2

行政情報便

- 横手地ソーズ誕生
- 市長ですてんにちはほか

8

地域の話題

- NEWS東西南北

10

情報information

- お知らせ
- いどばたプラザ

12

読者の声

16

思えば遠くへ来たもんだ

- 加藤由紀さん(雄物川)

18

巧(たくみ)

- 藤原六郎さん(増田)

19

横手遺産

- 享保雛(雄物川)

20

特集

子育てを楽しもう



昨年の10月から11月にかけて、子育て家庭の皆さんも多数参加して行われた「私のまちの市長室」

●横手地域のわんぱく館の中にママチャサロンという子育て家族の交流の場ができたが、自分の地域にも近くにそのような施設がほしい。

●冬季間は、なかなか外に出る機会がなく、施設の中で遊ぶ所といえば遊具も整備されている大森のシルバーエリアにある子どもと老人のふれあいセンターに行かなければならない。今ある施設を利用して雨や雪の日でも遊べる施設がほしい。

●これから子供を生む若い人たちの目に自然と入ってくる場所に、親子が集える施設があればいい。例えば図書館や体育館などに隣接されていれば、魅力ある場所になり、ここで子供を生み育てたいと思ってもらえるのではないかな。

●学童保育の新規実施や実施済みの施設の受け入れ人数の拡大、時間の延長など、働く親の実情に合わせたサービスの向上を図ってほしい。

市長室での **声**

昨秋、30代から40代の市民の皆さんを中心に参加を呼びかけ市内8会場で行われた「私のまちの市長室」では、市の子育て支援や教育環境の充実に関する意見が数多く出されました。

その中で最も多かったのが、横手地域のわんぱく館内に昨年6月に開設された「ママチャサロン」や大森地域のシルバーエリアに隣接する「子どもと老人のふれあいセンター」に見られる、子育て家庭が気軽に集い、交流できる場が欲しいという意見でした。また、地域において子どもが自主的に参加し、自由に遊ぶ、安全

に過ごすことのできる放課後や週末等の居場所づくりの必要性なども意見として出され、多くの子育て家庭がつどいの場を求めていることがわかりました。

**ご利用ください
地域子育て支援センター**

身近な地域の中で、気軽に子育てを支援してくれる環境が求められている今、その中核を担うのが、平成5年に厚生省（現在の厚生労働省）がエンゼルプラン（子育て支援の方

向性などを定めた国の長期計画）に基づいて創設した「地域子育て支援センター」事業です。

横手市でも、子育て家庭の負担を少しでも軽減し、楽しい子育てを支援するため、8つの地域すべてに子育て支援センターを設置しています。それぞれのセンターでは、子育ての相談に答えたり、楽しんで子育てができるような取り組みを行っており、気軽に利用できる環境ですので、子育てを通した仲間づくりにもぜひ活用ください。

求められる「新しい場」の創出

年々進む少子化。平成17年の秋田県の出生率は、全国で最下位。国や県はこれまで、さまざまな少子化対策を展開してきましたが、いまだにその傾向に歯止めがかかる気配はありません。その原因の一つに「子育ての負担が大きい」ことがあげられます。

昔は地域での交流も盛んで、家庭や地域でその負担を分け合っていた。しかし、核家族化、地域との関わりの希薄化などにより、子育ての負担が各家庭に大きくなっているのが現状です。特に、在宅で子育てをしている親の孤立感、負担感が増しており、親の社会参加の促進やフレッシュのための各種事業の拡充など、負担軽減への取り組みが求められています。

少子化対策の力ギは 子育て家庭の負担軽減



特集 「集い」から生まれる明るい子育て

子育てを楽しもう



一人よりみんなで解決

日野さや子さん親子

ママチャサロンは週に3日は利用しています。ここに来れば、お母さんも子どもたちもみんな仲良しです。育児の不安も一人で抱えるより、みんなで解決できるので、すごく助かっています。

明るく楽しい雰囲気です

伊藤咲子さん親子

今日は育児サークルの活動でここに来ました。明るく楽しい雰囲気、子どもも社交的になったような気がします。遊び場が少なくなる冬場は特に助かりますね。また利用したいと思います。



来るたびに解決する悩みや不安

五十嵐幸子さん親子

週に1回は利用しています。私はいわゆる「通勤族」のため、身近に知り合いやお友達が少なく、ここでの出会いが何よりも楽しい時間です。来るたびに悩みや不安が解決するとてもいい場所ですよ。

親子の友達づくりに最高です

伊藤千春さん親子

わんぱく館の利用は、上の子からですので、もう4年になります。ママチャサロンも毎日のように利用していますよ。ここに来ると楽しくて、時間があっという間に過ぎてしまいます。



●利用者の声



サロンに隣接するスペースには、おもちゃや絵本などが数多く用意されている。



●サロンの様子

サロンにある掲示板。育児での悩み事や知りたい情報などを書き込むと、先輩ママなどからアドバイスをもらうことができる。



取材当日は、子育て支援センター主催事業「なかよし広場」の活動である「ぼんでんづくり」の日。ぼんでん先生から指導を受け、親子でぼんでんづくりに挑戦。

というもので、盛んに活用されています。また、わんぱく館には、横浜市子育て支援センター「なかよし」も併設されており、支援センターの保育士から子育ての楽しいアドバイスも受けられます。

集まった親どうしが育児の楽しさや悩みを語りあい、相互扶助的に育児不安を解消していく場としての機能を存分に発揮している「ママチャサロン」。寒いこの時期は、何かと家にこもりがちですが、新しい出会いや親子のふれあいの時間を求めて、気軽に「ママチャサロン」を利用してみませんか。

楽しい子育てを応援します

横浜市子育て支援センター「なかよし」
指導員 富田 愛さん



ママチャサロンも、自由に好きな時間に利用できる場として、定着しつつあると思います。育児の悩みや不安は、一人で解決するのは難しいものです。私たちも精一杯サポートしますので、もっとたくさんの子育てママに来ていただきたいと思います。



サロンでの昼食の様子。笑顔の絶えない利用者の皆さん。

昨年6月、横浜市南町にある児童館・わんぱく館内にオープンした「ママチャサロン」。同じ年代の子を持つ親たちが気軽に集まり、子育てに関するさまざまな情報を得られる場所として人気が高まっています。

ママチャサロンは、毎週月曜日から金曜日までの午前10時から午後2時まで開設。学童保育の実施スペースを利用してするため、学校休校日や長期休みの間は利用できませんが、それ以外は、いつでも誰でも気軽に利用できます。サロン内には、子育てサークル「なかよしママ」の皆さんの協力による喫茶コーナー、さまざまな育児書や専門誌などがある書籍コーナー、掲示板などがあり、明るく楽しい雰囲気に包まれています。

中でも掲示板「なかよしママのお悩み相談コーナー」は、日ごろ感じている育児の悩み事や知りたい情報などを書き込むと、サロンの利用者や先輩ママがアドバイスをしてくれる



わんぱく館 (ママチャサロン)

住所 横浜市南町12-15
問合せ 横浜市子育て支援センター「なかよし」
(☎32-6933)



サロンには喫茶コーナーのほか、さまざまな育児書などが設置されています

子育てママの集いの広場
「ママチャサロン」
ようこそ



市福祉環境部子育て支援課長
畠山久美子さん
(はたけやま・くみこ)

子育ては、「気力・体力・財力」と3つの力が必要だと言われています。そのすべてを家庭で賄うのは、とても難しい時代です。市では、その3つの力を補い、家庭での負担を少しでも軽減できるような事業を展開しようとして、8つの地域にある子育て支援センターを中心に、さまざまな取り組みを計画しているところでは、

子育ては、「気力・体力・財力」と3つの力が必要だと言われている。そのすべてを家庭で賄うのは、とても難しい時代です。市では、その3つの力を補い、家庭での負担を少しでも軽減できるような事業を展開しようとして、8つの地域にある子育て支援センターを中心に、さまざまな取り組みを計画しているところでは、

「子育てって楽しいね」と感じられる施策を展開していきます

公表
します

横手市次世代育成支援行動計画の進捗状況について

市では、平成17年3月に作成した次世代育成支援地域行動計画に基づき、さまざまな子育て支援等の施策を展開しています。この計画は、福祉をはじめ保健・教育・労働・生活環境などの各分野にわたる次世代育成、子育て支援に関する総合的な計画であり、次の時代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つことができ、男女が互いに尊重・助け合いながら安心して楽しく子育てができる家庭と地域社会づくりを目指しています。

前期計画の期間を平成17年度から5年間としており21年度までの目標値を掲げていますが、数値目標を設定している主な事業の、17年度実績・18年度の実施状況を公表します。

項目	サービスの内容	21年度 目 標	17年度 実 績	17年度 進捗率	18年度 見 込	取り組み状況等について
保育サービスの充実	延長保育の実施 (保育所数・児童数)	24か所 210人	22か所 187人	91.7% 89.0%	22か所 205人	保護者の就労状況などを考慮し、通常の保育時間を超えて児童を保育しています。保護者のニーズに応えられるよう延長保育の充実を目指します。
	休日保育の実施 (保育所数・児童数)	3か所 50人	2か所 28人	66.7% 56.0%	3か所 36人	日曜・祝日等の保護者の勤務等で児童を保育できない時に保育所で保育します。各地域で利用できるよう休日保育の充実を目指します。
	一時保育事業(国庫補助事業)	7か所	8か所	100.0%	10か所	保護者の育児疲れの解消、急病や勤務形態の多様化等に対応するため、一時保育を行っています。保護者のニーズを踏まえながら一時保育事業の充実を目指します。
子育て支援の充実	ファミリーサポートセンター事業 (箇所数・会員数)	2か所 500人	1か所 447人	50.0% 89.4%	2か所 520人	有償ボランティアにより子育てを支援しています。横手地域に加え18年度は増田地域に支部を設置しました。19年度は大雄支部の開設を目指します。
	子育て支援ネットワーク協議会の設置	実施	未実施	0.0%	未実施	子育て支援者の協議の場がないため、情報の共有や事業の協働体制等が構築されていません。ネットワーク協議会の設置を目指します。
	家庭児童相談員の配置 母子自立支援員の配置	2人以上 2人以上	3人 2人	100.0% 100.0%	3人 2人	家庭児童相談員を1名から3名に増員し、家庭・児童に関連する様々な相談に対応しています。 母子自立支援員を1名から2名に増員し、ひとり親家庭に対する様々な相談に対応しています。
意識啓発	男女共同参画計画の策定	策定	未策定	0.0%	策定済	男性も女性もお互いの人権を尊重し、性別にとらわれることなくそれぞれが個性と能力を発揮できる社会を形成するため、平成18年度に男女共同参画行動計画を策定し、男女が協力して子育てや家庭を築くことの大切さなどについて意識啓発を図ります。
児童の健全育成	放課後児童クラブの実施 (箇所数・児童数)	15か所 390人	17か所 452人	100.0% 100.0%	17か所 436人	核家族化や仕事を持つ母親の増加に伴い利用者が増えていきます。実施箇所を増やすとともに開所時間の延長を目指します。
	児童虐待防止に関する講座の開催	年1回以上	0回	0.0%	2回開催	児童虐待防止連絡会の設置、虐待防止に関する講習会を開催しながら、発生予防・早期発見・早期対応に努めています。

◎行動計画の全文、具体的な事業の実施状況等を市のホームページに掲載していますのでご覧ください。



●子育て支援の拠点！
「地域子育て支援センター」を
ご利用ください

育児
サークル

市では、各地域局に子育て支援センターを設置し、子育て真っ最中のお母さん、お父さんなどのお役に立てるよう、色々な形で育児を支援しています。その一環として、下表のように、遊びや活動を通して他の子育て家族とも友達になれるような交流の場を設けています。

●親子でつどう広場

地域局	名 称	開 催 日	場所・時間等
横手地域局	なかよし広場	毎週金曜日	※行事内容等により、開催日時及び場所は変更される場合があります。事前に各子育て支援センターに確認してください。
増田地域局	ひよこルーム	毎週木曜日	
平鹿地域局	りんごちゃん教室	年10回程度	
雄物川地域局	すくすくクラブ	毎週火曜日	
大森地域局	育児サークル	毎月1回	
十文字地域局	さくらんぼひろば	毎週木曜日	
	ひよこひろば	月1回(火曜日)	
	うきうきデー	月1回(木曜日)	
山内地域局	なかよし広場	月2回程度	
大雄地域局	わんぱくクラブ	月1回(第2木曜日)	
	ぴよクラブ	月1回(第2水曜日)	

●子育て支援センター

施 設 名	実施場所	電話番号
横手市子育て支援センター「なかよし」	わんぱく館	3 5 - 7 2 2 7
横手市増田町子育て支援センター「ひよこルーム」	ますだ保育園	4 5 - 4 6 3 7
横手市平鹿町子育て支援センター	醍醐保育園	5 6 - 0 1 5 5
横手市雄物川町子育て支援センター「すくすく」	沼館保育園	2 2 - 4 5 1 1
横手市大森町子育て支援センター「たんぼ相談室」	大森保育園	2 6 - 3 1 3 2
横手市十文字町子育て支援センター「さくらんぼ」	十文字保育所	5 5 - 2 2 5 5
横手市山内子育て支援センター	さんない保育園	5 3 - 2 1 7 2
横手市大雄子育て支援センター	たいゆう保育園	5 6 - 5 0 6 1

市内8つの地域にある子育て支援センターでは、電話や支援センターでの育児相談や専門の先生を迎えての育児講演会、子育てを支援してくれる各種サークル等へのお手伝いなど、様々な趣向を凝らした特色あるサービスを行っています。お気軽にご利用ください。

■子育てに関するご意見、ご要望などは市福祉環境部子育て支援課（大森庁舎内）☎26-2113まで、実施事業に関する具体的な問合せは、お近くの子育て支援センターまでお願いします。

支援
センター

がんばれ スギッ子



～国体だより～
No.11

「まごころ国体」再び ～昭和36年秋田国体の記録から～

46年前、高度経済成長期まっただ中の秋田で、初めての国体が開催されました。「まごころ国体」として関係者の絶賛を浴びた当時の記録を、写真で振り返ってみましょう。（資料提供：市史編さん室）



このとき横手で開催された競技は、軟式野球（横手市営球場・横手記念球場・横手高校球場）、弓道（横手高校弓道場）、ボクシング（横手工業高校体育館）の3競技です。「国体に若人よんでる山と川」のスローガンのもと、全国から1,070名の選手団をお迎えしました。



婦人会会員のお迎え（駅前）



高校生のお手伝い（駅前）



軟式野球準決勝（市営球場）

市内に宿泊施設が少なかった当時、約350名の選手が一般家庭に「民泊」をしました。選手のみなさんを家族同様に温かくおもてなした市民の「まごころ」は、遠路はるばる全国各地から来横した選手・役員に、忘れ得ぬ印象をあたえました。

今年の国体は、市内での民泊はありませんが、新しくなった横手の変わらないおもてなしで、総勢1,717名の選手団を市民みんなで温かくお迎えしましょう。

■国体に関する問合せは
総務企画部国体推進事務局
（横手就業改善センター内）
☎35-2171

市長です

こんにちは

横手市長 五十嵐 忠悦

平成19年最初の「市長ですこんにちは」。今回から、装いを新たに私の仕事の内容をお伝えします。

▼出張Ⅱ秋田リッチセミナーin大坂（1月10日）
秋田県主催による企業立地説明会で、企業関係者約80人を前に横手市のPRを行いました。また、ボーイング社認定で航空機部品加工などを手がける株式会社アオキ（東大阪市）の青木豊彦社長と再会し、関西地区の企業や人的ネットワークに関する情報をいただきました。

▼来横Ⅱ鈴木望・静岡県磐田市市長が当市の健康の駅事業を視察（1月17日）
実施自治体によって特色ある健康の駅事業。厚生労働省OBでもある鈴木市長が深い関心を持って当市を訪れたのは、先進性が評価された結果だと考えています。鈴木市長は「ぜひ磐田市の参考にしたい」と話しており、有意義な視察となったようです。

市長の動静 （1月上旬～2月上旬）



2月7日、いぶりんピックの審査員を務め、テレビ局からコメントを求められました

▼市民との交流Ⅱ十文字地区婦人団体連絡協議会国土交通大臣感謝状受賞記念祝賀会（1月27日）
道路花壇造成等の美化活動が評価されている受賞であり、歴史ある婦人会活動に敬意を表します。今年には国体で多くの方が横手のまちを訪れます。今後、ますますのご活躍に期待しています。

▼新ニュースⅡ横手地ソース「極黒」発売（2月1日）
販売開始直後から大好評のようです。「良いものは高くても売れる」これも横手ブランド確立の足がかりにしたいと考えています。市民の皆さんも本物のソースをぜひ一度ご賞味ください。

市長面会日

2月22日（木）

午前9時～10時30分
申込期限2月19日（月）

■申込み・問合せ
市総務企画部秘書広報課秘書担当
☎35-2111 内線1033

極黒

横手地ソース
Yokote Original

大地のうま味を凝縮
横手地ソース
「極黒」誕生!!

マーケティング

市では、食のまちづくりによる産地のブランド化を目指した取り組みの一つとして、市内産の材料にこだわったソースの開発に成功し、2月1日から販売を開始しました。

市がソースの開発に着手したのは昨年春。原材料が全て横手市内で調達できることに着目し、「口に含むと農産地の風景が見えるような真のソースを作りたい」との思いで製造業者、百貨店、大学関係者と連携し、産・学・官による地ソース研究会を発足させました。

試行錯誤を重ね、ウスターと中濃の2種類が完成したソースは、材料にタマネギ（横手、増田、十文字、山内産、ニンジン（雄物川産、セロリ（大雄産）、リンゴジュース（増田、平鹿産）、ワイン（大森産）を使用しており、高級感あるラベルとガラス容器にうま味が凝縮された極上の1本となっています。

販売は、株式会社田園（雄物川）を通じ市内の小売店、観光施設などで行っており、市では、今回の経験を生かし、さらなる商品開発と産地の活性化を図りたいと考えています。

■問合せ 市産業経済部マーケティング推進課（増田庁舎内）
☎4515537

議会を傍聴してみませんか 横手市議会3月定例会開催のお知らせ

傍聴を希望される方は、横手庁舎7階の傍聴席に直接お越しください。なお、団体での傍聴の場合は事前に議会事務局までご連絡ください。

■会 期 2月26日（月）から3月20日（金）までの23日間
■日 程
2月26日（月）本会議 【開会、議案上程ほか】
2月27日（火）本会議 【議案上程ほか】
3月5日（月）本会議 【一般質問、請願・陳情委員会付託】
3月6日（火）本会議 【一般質問】
3月7日（水）本会議 【一般質問】
3月20日（金）本会議 【各委員長報告ほか、閉会】
■時 間 午前10時から
■場 所 横手庁舎6階議場（傍聴席は7階）
■問合せ 市議会事務局（横手庁舎6階）
☎32-2535

道の駅 十文字

公募により決定！
オフィシャルマーク
ネーミング・オペレーションマーク

今年4月に農産物直売所および加工所のオープンが、また9月には全館グランドオープンが予定されている道の駅十文字のオフィシャルマークおよびオペレーションマーク（ネーミングを含む）のデザインが公募により決まりました。

昨年9月中旬から約1か月の応募期間で、オフィシャルマークには30点、オペレーションマーク（ネーミングを含む）には95点の応募がありましたが、選考の結果、ともに小柴雅樹さん（兵庫県在住）の作品が優秀賞に選ばれ、正式採用が決定したものです。

ネーミング 「まめでらが～ 道の駅 十文字」

オフィシャルマーク→
道の駅十文字としての公式なマーク（シンボルマーク）。

←オペレーションマーク

ネーミング（愛称）も含め、包装紙や販促物などに使用する運営会社のイメージマーク。

■問合せ 十文字地域局「道の駅十文字」開設準備室
☎42-5111（内線6179）

消 防

緊急出動表示灯が設置されました
2月16日から試験的に運用します

消防車、救急車等の緊急車両の出動を周囲にお知らせする「緊急出動表示灯」が市消防本部前に設置されました。緊急車両の出動時に、「緊急出動」の表示や赤色灯が点灯するほか、サイレンが大音量で流れますので、緊急車両の円滑な通行にご協力をお願いします。

なお、本格稼働は3月14日（水）からとなりますが、2月16日（金）から試験的に運用を開始します。



■運用開始 3月14日（水）
■試験期間 2月16日（金）～3月13日（火）
■問 合 せ 市消防本部警防課 ☎32-1246

見守り隊に感謝を込めて

■保呂羽小児童がカレンダー贈呈(大森)

1月30日、保呂羽小学校児童(35人)が、毎日通学路に立って登下校を見守ってくれている、子供見守り隊の皆さんに日頃の感謝の気持ちを伝えようと、手作りのカレンダーを贈りました。

同校で行われた贈呈式では、児童を代表して阿部健さんと阿部真彦さんが「皆さんのおかげで安全に登下校ができます。雨の日も、雪の日も僕たちを見守ってくれてありがとうございます」とあいさつし、製作したカレンダー51戸分を見守り隊の平元鉄雄代表に手渡しました。



感謝の気持ちを込めてカレンダーを贈りました

お菓子をプレゼント

■童っこの雪まつり(十文字)

2月3日、植田小学校グラウンドで童っこの雪まつりが行われました。十文字西公民館の主催によるこの雪まつりは、例年、雪を利用したゲームなどが行われていますが、今年は雪不足のために予定していた遊びなどが実施できませんでした。そのため、がっかりした様子の子どもたちに少しでも喜んでもらいたいと、主催者側からお菓子やみかん、屋台での温かいうどんなどが振舞われました。

また、夜にはどんど焼きも行われ、地区の方々も参加して今年の無病息災を祈願しました。



参加した子どもたちにはお菓子などが手渡されました

初代金メダリスト決定

■第1回いぶりんピック(山内)

いぶりがっこ生産者の会の皆さんが互いの技術と味を競い合う初めての試み「いぶりんピック」が2月7日、岩瀬ふれあい館で開催され、自家製法部門、漬け物の素部門、フリースタイル部門に合わせて27人が出場しました。

味、色、香り、食感などを総合的に判断する審査の結果、最高賞となる自家製法部門金賞に高橋篤子さん、漬け物の素部門金賞に高橋幸子さんがそれぞれ輝きました。入賞者のレシピは、会員の皆さんに公開され、今後より質の高い商品作りに生かしていただくこととなります。



審査結果を待つ間、お互いの味を確かめ合う出場者の皆さん

昔遊びや雪遊びを楽しむ

■大雄子どもフェスティバル(大雄)

2月4日、大雄交流研修館「ふれあいホール」周辺を会場に大雄子どもフェスティバルが開催されました。ホール内では、こまやお手玉などを体験する昔遊びコーナー、バルンアート体験、餅つき、お茶会、バザーなど、様々な催しものが行われ、参加したたくさんの子どもたちで終始賑わっていました。

また、外の会場では熱気球飛行体験が中止になったものの、ポニーやスノーモービルの引くソリ試乗体験などが行われ、子どもたちは雪遊びを思う存分楽しんでいました。



スギッチとのジャンケンに勝った子には国体グッズをプレゼント



横手やきそば暖簾会の伊藤会長から指導を受ける受講者

技術に加え知識も習得

■横手やきそば職人養成講座開講(横手)

市内外のイベントで、横手やきそばの実演、販売をしながら市の宣伝活動を行う横手やきそば職人の養成講座が1月31日に開講しました。

この講座は、横手やきそばの知名度が上がるにつれて増える派遣要請に対応するため、3年ぶりに開講されたもので、34人の受講者の皆さんは職人認定を目指し真剣な表情で受講しています。計6回行われる講座を修了し、市の宣伝マンとして認められると、認定証が交付され、全国各地のイベントで活躍していただくこととなります。

迫力の好ゲームを展開

■JBLバスケットボール横手市増田大会(増田)

1月10日、男子バスケットボールJBLスーパーリーグ横手市増田大会「アイシン対日立」戦が横手市増田体育館で行われました。

今年で18年連続の開催となった増田大会は、国内最高レベルの試合を観戦できるとあって、2000人を超す観客が会場を埋め尽くし、熱い声援で盛り上がりました。

試合は、終始拮抗したゲーム展開。最終の第4クォーターに引き離したアイシンが78対69で日立に競り勝ち、リーグ選9勝目を挙げました。



高さや迫力のゴール下の攻防

ストライク目指して

■平鹿地域スマイルボウリング大会(平鹿)

2月3日、農業者トレーニングセンターで、平鹿生涯学習センター主催による第12回平鹿地域スマイルボウリング大会が開催されました。

スマイルボウリングとは、ボウリングをアレンジした形式のスポーツで、投球位置からゲートを通させ、10本のピンをできるだけ少ない投球で倒すことを競うゲームです。

この日は地域の50人以上の方が参加。力強く投げたボールがピンを倒す度に、元気な歓声が体育館内に響き、参加した皆さんのほつらつとした笑顔が見られました。



ストライクを目指し、勢い良くボールを投げる参加者たち

光る頭で社会を明るく

■「光頭会」番付編成会議(雄物川)

髪の毛が極めて少ない人たちで作る「光頭会」恒例の番付編成会議が1月27日、交流センター雄川荘で行われました。

取組を前に、社会を明るくすることをモットーとする光頭会の運動の一環として、プルタブを集めて福祉施設に車椅子を贈っている雄物川北小学校児童に、会員が7年掛けて集めたプルタブ15kgを贈りました。取組では、頭の色つやを競う「光頭相撲」と頭に吸盤を付けて引っ張り合う「吸盤綱引き」が行われ、光頭相撲では、東の横綱の三浦六右衛門さんが貫禄を見せつけ横綱の座を守りました。



「光頭相撲」東西横綱の一番、行司が頭の色つやを判断

情報

●お知らせのページ●

お知らせ



横手駅から「踏切通行」についてのお知らせ

踏切の遮断機が下りる直前に線路を横断したり、一旦停止をしないで踏切内に進入し閉じ込められるというトラブルが発生しています。冬期間は車のスリップ事故が多発しやすく、大変危険です。

ドライバーの皆さんは踏切事故防止と安全のため、早めにブレーキをかけ、踏切前ではしっかりと一旦停止をするように心がけて通行ください。

問合せ JR東日本横手駅

催し



第19回ひな人形展

市指定文化財享保雛や芥子雛など、古式ゆかしいひな人形の展示を行います。

期間 2月17日(土)～4月22日(日)※毎週月曜、休館日

時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

場所 雄物川郷土資料館

入館料 大人100円、小・中学生は無料

問合せ 雄物川郷土資料館
☎22-2793

横手市担い手フォーラム

農業を取り巻く環境の変化に対応できる農業経営体の育成に向けて、新たな経営安定対策がスタートします。そこで、集落営農を進めようとしている農家の皆さんが共に集い、集落営農組織や担い手女性の役割、横手の農業と農村の発展について語り合うフォーラムを開催します。

日時 2月20日(火)午後1時

場所 秋田ふるさと村ドーム劇場

「集落営農から新たな横手型複

自動車の登録手続きをお早めに

年度末になると、運輸支局の自動車検査・登録窓口は、大変混み合います。特に3月中旬以降は、自動車税課税基準日(4月1日)前に駆け込み申請をする方や車検車両の増加のために混雑し、申請者の方を長時間お待ちさせる状況となっています。自動車の諸手続きを予定している方は、年度末前の比較的混雑の少ない3月上旬頃までに手続きくださいますようお願いいたします。

問合せ 東北運輸局秋田運輸局
☎050-5540-2012

大型免許技能試験が予約制となります

運転免許センターでは、大型免許技能試験の受験予約を開始します。受験をする際は、ご利用ください。

予約受付 3月1日(木)から
受付時間 午前8時30分～午後4時(土日、祝日を除く)
受付窓口 秋田県運転免許センター1階50番窓口
問合せ 秋田県運転免許センター
☎018-862-7570

合経営の構築へ

講師 佐藤 了先生(秋田県立大学生物資源科学部教授)

パネルディスカッション

参加者 集落営農・加工グループ・農業団体の各代表者

申込・問合せ 市産業経済部
農政課 ☎45-5522、または各地域局産業振興課、各JAへ

横手市雇用創出協議会セミナー

接客サービスやマナー研修のプロを講師に迎え、新入社員育成についての講演を行います。「採用した社員を早く一人前にするには」

日時 2月21日(水)午後6時30分

場所 横手セントラルホテル

講師 橋本泉さん(中小企業診断士)

問合せ 市雇用創出協議会事務局(市産業経済部商工労働課内)
☎45-3990

横手養護学校児童生徒作品展

さをり織りやクラフト、お皿など、児童生徒が授業中に制作した作品や、学習の様子を紹介した写真パネルを展示します。

期間 2月16日(金)～22日(木)

市内に店舗等のある事業主の方へ「耳マーク」表示による筆談対応のお願い

「耳マーク」は、聴覚に障害のある方が耳が聞こえないことで誤解されたり、危険な目にあわないよう、耳が不自由なことを自己表示する必要があることから考案されたものです。現在、市では市役所全庁舎と関係施設のすべての窓口に「耳マーク」を表示し、筆談による対応を行っています。しかし、障害のある方の社会参加を促すためには全市的な取り組みが必要です。そのため、多くの方が利用される市内の小売店、事業所等でも同様に対応していただきたく、ご協力くださいますようお願いいたします。

【ご協力いただける場合】

- ①「耳マーク」(カラーA4版)原紙1枚をお送りいたしますので、3月9日(金)まで、下記の担当へ送付先をご連絡ください
- ②送付された「耳マーク」を、受付窓口等に表示してください
- ③筆記用具を窓口等に配置し、筆談に応じる際は、はっきりとなるべく大きな字で書いてください
- ④元がはっきり見えるように、ゆっくりとお話してください
※「耳マーク」の複製・利用は(社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会からの承諾が必要であり、今回は横手市が承諾を得ております。

■問合せ 市福祉環境部社会福祉課社会福祉担当 ☎26-2112

耳の不自由な方には筆談いたしますので、お申し出ください。ゆっくりと説明いたします。



市役所からのお願い ペットの飼い方にご注意を！



最近、ペットとして飼われている犬や猫に関する苦情や相談が多く寄せられています。ペットは飼い主にやすらぎを与えてくれますが、飼い方によっては周囲に迷惑をかけることがあります。ご近所との良好な関係に配慮し、責任を持って飼いましょう。

○路上等へのペットのフンの放置は大変な迷惑となります。袋などに入れて持ち帰り、トイレに捨てましょう

○犬小周回の清掃は飼い主が責任を持って行い、人が通るような場所に犬をつなぐのはやめましょう。また、綱や首輪がはずれないよう、十分注意しましょう

○のら猫にむやみにエサを与えることで数が増加し、問題になることがあります。無責任に餌付けするのはやめましょう



場所 イオンスーパーセンタ

1 横手南店

問合せ 横手養護学校総務部
☎33-4166

横手おやこ劇場「風の子バザール」

劇団「風の子」による、世界の民話を基にした舞台劇です。

日時 3月5日(月)午後7時開演

場所 かまくら館5階

会費 入会金200円、月会費800円(横手おやこ劇場への入会が必要です)

問合せ 横手おやこ劇場
齊藤さん ☎32-0573

道の駅さんない「雪まつり2007」

楽しいイベントが盛りだくさんの一日をお楽しみください。

日時 2月25日(日)午前10時～午後3時

場所 道の駅さんない イベント広場

内容 ○遊びの広場Ⅱほっぴきゲーム、バナナボート等
○食の広場Ⅱ甘酒、豚汁、おにぎり、ホタテ焼きの販売等
○みんなの広場 祝い餅つき、お菓子まき、そばの早食い等
問合せ 道の駅さんない
☎56-1600

横手商工会議所 講演会「明るい田舎で暮らそう」

地域の資源を活かし、明るく暮らしやすいまちづくりのヒントをこの講演からつかんでみませんか。入場は無料です。

日時 3月9日(金)午後3時

場所 かまくら館2階ホール

講師 石川 好先生(秋田公立美術工芸短期大学学長)

問合せ 横手商工会議所
☎32-1170

横手市合併記念・各地域巡回公演「鳥海劇場」

市内8団体による演劇の巡回公演です。ぜひご来場ください。

日時 2月24日(土)午後6時

場所 雄物川コミュニティセンター

平鹿公演
日時 3月3日(土)午後6時30分開演

場所 平鹿生涯学習センター

内容 「おらが町の歌謡ショー」・劇団あやめ座
「めくらぶんど」・劇団かんじき
入場料 500円
問合せ 横手市民会館 ☎32-3136



募 集



障害者支援施設「ひまわり社」の利用者募集

市では、今年4月から旧神産婦人科医院（横山町）を改修し、障害者支援施設「ひまわり社」を開設します。これは、障害者の方々の能力や適正に応じて自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、身体的能力や日常生活能力の維持・向上を目指すものです。ご利用を希望される方は、左記へお申し込みください。

- 定員 20人（18歳以上）
 ■申込期限 3月20日（火）
 ■申込・問合先 横手市福祉事務所社会福祉課 ☎22-2112

後三年台戦（役）等関連史跡整備指導委員会 傍聴者募集

教育委員会では、来年度から始まる史跡調査等での指導を目的に、大学教授など第一線の研究者による委員会を設置しています。今回は、この会議を公開で行います。ぜひ傍聴ください。

■日時 2月20日（火）午後1時30分～3時30分
 ■場所 かまくら館

【増田地域センター主催】環境講演会「森は海の恋人」

増田地域センターでは、今ある増田の自然を知り、環境の変化や今後の課題などを一緒に考え、次世代に美しい自然を引き継いでいけるよう活動をしています。

今回は、カキやホタテの養殖に従事しながら植樹活動や環境教育などに取り組んでいる畠山重篤さんを講師に迎え、山と海のつながりの神秘さや大切さについて講演を行います

- 日時 3月3日（土）午後1時30分開演
 ■場所 増田ふれあいプラザ
 ■入場料 無料
 ■講師 「牡蠣の森を慕う会」代表 田山里崎さん
 ■問合せ 増田地域局地域振興課 ☎45-5510



増田地域農業活性化講演会

農業の担い手や消費者が一堂に会し、「農業の持っている可能性を考える」をテーマに、講演や就農予定者の意見・研究発表、海外に農産物を輸出している団体の実践発表を行います。この講演を通して、これからの農業の可能性について考えてみませんか。

- 日時 2月21日（水）午後1時30分
 ■場所 増田ふれあいプラザ
 ■内容 ○講演会「地域で育む食育活動～スーパーマーケットを食育体験学習の場に～」
 講師 藤本陽子さん（株式会社タカヤナギ販売推進室長）
 ○意見・研究発表 秋田県立増田高等学校農業科 学科3年生
 ○実践発表 増田出荷会
 ■入場料 無料
 ■問合せ 増田地域局産業振興課 ☎45-5515（内線 2642）



講習講座



CAPワークショップ「子どものために大人ができること」

CAPとは、子どもが様々な暴力から自分自身を守るための知識や技能を育むためのプログラムです。ワークショップという参加型の学習を行い、参加者

- 定員 先着10人（横手市民の方に限ります）
 ■申込先 市教育委員会文化財保護課（旧蛭野小学校内）
 ☎24-3480

は自ら考え、意見を述べ、役割などを通して人権について学びます。今回は、その中の一つ、大人向けのワークショップを開催します。

- 日時 3月8日（木）午前9時30分～11時30分
 ■場所 わんぱく館
 ■対象 子育て中の保護者、CAPに関心のある方など
 ■参加費 無料
 ■定員 30人（先着20人に託児あり。1人につき500円）
 ■申込先 横手市ファミリー・サポート・センター ☎3517211

市消防本部の災害情報案内電話番号が変わりました

火災、事故等の災害発生状況等をお知らせするサービスの電話番号が2月7日（水）から新しくなりました。

新しい番号
0180-991-019
 ※10桁すべて押してください

【訂正とお詫び】

市報よこて「横手地域局おしらせ版」2月号の記載内容に誤りがありました。訂正してお詫びします。
 ■横手地域局版「お知らせカレンダー」内の2月17日（土）に掲載しました「まちの保健室」は行いません。

募 集

ご利用ください
各種奨学金制度のお知らせ

●横手市奨学金貸付制度

- 応募資格 今春、高等学校または大学等に入学する方、もしくは在学している方で、保護者が横手市に住所を有しているなど、一定の要件を満たしていること
 ■貸付金額 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、養護学校等の高等部については月額2万円。大学、短期大学、専修学校専門課程については月額4万円。
 ■応募方法 奨学金貸付願、在学証明書、最終出身校または在学する学校の学業成績証明書等の書類を提出ください
 ■応募期間 4月2日（月）～27日（郵送の場合は最終日必着）
 ※募集要項は、市教育委員会学校教育課、または各地域局地域振興課で2月中旬から用意しています
 ■問 合 せ 市教育委員会学校教育課（雄物川庁舎内） ☎22-2152

●「よねや育英資金」修学貸付制度

- 対象者 高等学校等または大学等に入学する予定で、次の条件を満たす方
 ・学費の支出が困難な家庭であること
 ・横手市に現に住所を有し、または有していた方
 ・保護者が現に横手市に住所を有している方
 ■貸付金額 ○修学貸付金（高等学校等）月額18,000円以内
 ○就学支度金 高等学校等 100,000円以内
 大 学 等 500,000円以内
 ■募集定員 若干名（選考委員会にて貸付を決定します）
 ■応募方法 育英資金貸付願、合格通知書、所得証明書等の書類を用意して申し込みください
 ■応募期間 3月1日（木）～26日（月）
 ■問 合 せ 市福祉環境部子育て支援課（大森庁舎内） ☎26-2113

●（財）山下太郎顕彰育英会

学術研究奨励賞

- 応募資格 秋田県出身、または県内の研究機関に所属する方で、平成19年4月1日現在で満40歳未満の個人3名
 ■応募期間 3月1日（木）～31日（土）必着
 ■助 成 額 受賞者には、表彰状と副賞100万円を授与

地域文化奨励賞

- 応募資格 秋田県内で地域文化向上のため、学問、技術、芸術などの研究を継続的にを行い、優れた研究実績を上げている個人か団体2組
 ■応募期間 3月1日（木）～31日（土）必着
 ■助 成 額 受賞者には、表彰状と副賞30万円を授与

奨学生

- 応募資格 今年4月に高等学校、大学へ入学する方
 ■応募期間 4月1日（日）～30日（月）必着
 ■貸付金額 高等学校4名（月額2万円）、大学10名（月額5万円）
 ※申請書類は、両奨励賞・奨学生とも事務局窓口で直接、または郵送により請求できます。郵送の場合は、「○○申請書請求」と記入のうえ140円分の切手を同封してください
 ■申込・問合先 〒013-0521 横手市大森町字大森145（財）山下太郎顕彰育英会 ☎26-3500

いとばた
プラザ

市民主催の催し等をお知らせするコーナーです

めざせ！中級英会話

中級レベルをめざして外国人講師と楽しくトークしましょう。見学は無料です。
 日 時 ●毎月第1・2・3火曜日午後7時～8時30分
 場 所 ●男女共同参画センター
 問合せ ●備前さん ☎36-2621

つかえる英語講座

アメリカ人の先生による講座です。あいさつからビジネスに使える英語まで学びます。
 日 時 ●2月27日（火）午後7時～9時
 場 所 ●かまくら館 ※参加費1,000円（初回は無料）
 問合せ ●若林さん ☎32-0077

南部シルバーエリア 料理教室

ひな祭りを祝う料理作りに挑戦してみませんか。
 日 時 ●2月28日（水）午前10時（参加費1,000円）
 場 所 ●南部シルバーエリア調理室（定員20人）
 申込期限 ●2月23日（金）
 問合せ ●南部シルバーエリア ☎26-3880

ピュアライフ 酸素講座

飲む酸素についてのお話です。
 日 時 ●2月28日（水）①午後1時30分、②午後6時30分
 場 所 ●横手セントラルホテル 紫陽花の間
 定 員 ●20人
 問合せ ●佐藤さん ☎090-6159-3370

中国語講座 初級会員の募集

ラジオ中国語講座のテキストを使って中国語を学びます。中国出身の方もいますので、お気軽にご参加ください。
 日 時 ●3月6日（火）から開始、毎週火曜日午後7時
 場 所 ●女性センター（会費：月1,000円）
 問合せ ●竹原さん ☎37-2418、阿部さん ☎090-8924-3284



笑顔がいっぱい

お便りをくださった方の中から抽選で横手市の特産品等をプレゼントします。
※当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます
【締め切りは平成19年3月5日(当日消印有効)】

●きりたんぼ鍋セット (横手)



秋田の冬といえばこれ。きりたんぼ、比内地鶏に加え、「料亭長谷川」監修によるスープや栗駒深層水、県内産にこだわった野菜など、鍋に必要な材料が全て入ったきりたんぼ鍋セットを6名様に。
【提供】横手市民市場
☎33-2866

●横手地ソース「極黒」

横手産の素材に徹底的にこだわりの瞬間、横手の農村の香りが広がる横手地ソース「極黒」。中濃、ウスター2本セット(各200ml入り)を10名様に。
【提供】株式会社 田園
☎22-4186
(※関連記事8ページに掲載)



POST CARD

0 1 3 8 6 0 1

お手数ですが
50円切手をお貼りください

横手市前郷字下三枚橋163

横手市役所
秘書広報課 行

フリガナ

◎ご氏名

◎年齢／ 歳 ◎性別／ 男 ・ 女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□-□□□□

電話 () -

◎ご希望のプレゼントを○で囲んでください

1. きりたんぼ鍋セット 2. 横手地ソース「極黒」

PRESENTS PRESENTS PRESENTS PRESENTS PRESENTS PRESENTS PRESENTS PRESENTS

日本
横手
たより
ふれあい
語り合い

2 15
2007

読者の声

このページは読者の皆さんから寄せられた声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

果樹王国・横手に期待

千葉県 小原倉三さん

昨春秋、実家から届いた横手産に加え、山形、福島、長野県産のりんごを味わったが、その中で最もおいしかったのが横手産。おすそ分けに会社の同僚たちに味わってもらうと、そこでも全員から横手産が一番おいしいという評価を得た。横手産は、他県産に比べて甘くコクがあり濃厚な味。同僚から評価されたことで、横手産が一番おいしいということが実証された。りんごといえば、青森、長野産が定説だが、これを覆し「日本一の

りんごは横手産」、ぶどうも含めて「果樹王国・横手」を声高に宣言し、全国にPRしてもらいたい。福島県産の箱に「1年間苦労して栽培した」という生産者のメッセージが入っていた。こういう心遣いは必要だと思う。

まちづくりには活力が必要

雄物川「T・M」さん 68歳

昨年暮、石川好学長の講演で全国調査から、一度も訪れたことのない県のトップは秋田であることを知らされショックを受けました。また、日本全国を歩いている先生が、平鹿りんごは

い。こちら市川市から家族6人熱いエールを送ります。

新たな生活がスタート

増田「コウちゃんママ」さん 39歳

昨年の暮れに生まれたばかりの子供とともに増田に引っ越してきました。毎日寝不足で目まぐるしく、時間があつという間に過ぎていきます。育児の合間に窓から見える自然の美しい風景と空にいやされています。子供を抱いて散歩に出かけると「何か月ですか?」と見知らぬ方が笑顔で話しかけてくれます。地域の方々の優しさに触れ、楽

この機会に脳のトレーニング

雄物川「夢みるおばさん」さん

しみながら日々子供の成長を見つめています。早く大きくなって雪遊びをさせたいです。

私のお菓子作りのパートナーであったオーブンレンジが12年の寿命を終えました。少々働かせすぎたと思つし、私の試作の美味しくないお菓子もイヤと言わずに焼いてくれました。ありがとう! あなたの次のレンジ君は、機能がたくさんあつて、12年間でずいぶんと進化したものだと感じています。携帯電話

日本一おいしい。もっと宣伝すべきと話していました。待ちの姿勢ではなく、一人ひとりが100円出しあつても地元産の産物・文化・自然を売込むくらいの意気を持つことが大切と強調されていました。本当に住み良い横手市には活力が必要と痛感した講演でした。

帰省者を裏切らぬよう

横手「温泉最高でやっす!」さん 42歳

先日、テレビ局のイベントで「ウォークin平泉」に参加しました。そこで偶然にも、横手出身で一関市在住の夫婦と出会いました。帰省することがとても楽しみで、年に何回もしている笑顔で話してくれました。この正月もたくさんの方が帰省したことでしよう。地元に住む人のアイディアで、いつの時代も「魅力があり、しかも和める横手」でありたいと思います。

今年もハタハタを堪能

十文字「ガラヤセ」さん 60歳

主人と2人の生活ですが、あつちこつちからハタハタをたくさんもらいました。友人の旦那さんが釣ったハタハタの鮮度の良さに驚き、ピチピチでとても美味しかったです。また息子たちには塩麴にして送り、孫達

譲り合う精神があれば

大森「A・T」さん

先月のこの欄「思いやりで住みよいまちに」を見て。自分も数年前に障害者手帳をもらいましたが、内臓疾患で見た目には普通と変わらない生活、行動をしています。先日、私も障害があると思ひ病院の障害者用駐車場を2度ほど利用しました。でも、普通に歩行も出来ると思ひ、

もブリッコは大喜びだそうです。やはり、秋田の季節ハタハタは、もらつても送つても嬉しいですね。

暖冬で学生時代を思い出す

山内「トットちゃん」さん 52歳

私が30代の時、やはり暖冬で雪がありませんでした。学生時代もそうでした。確か、高校1年の時はスキーの授業が受けられましたが、2年の時は、雪がなく少ししか滑れませんでした。3年の時は、田沢湖スキー場にバス数台で行った記憶があります。スキー部の人は3学期はほとんどいない状態で、春には真つ暗に焼けた顔をしていました。

冬だからこそ出かけよう

横手「T・C」さん 40歳

2歳の息子を連れて、わんぱく館のママチャサロンにでかけています。特に冬は家にこもりきりで、子育ても息詰まりがちですが、同じ年頃の子供たちやお母さん方との出会いもあり、思いっきり遊ばせることができます。また、子育て支援センターの方のアドバイスで子育て頑張ろう!と元気をもらっています。たくさんの子供たち、お母さん達もどんどん利用して欲しいと思うママチャサロンです。

停めるのをやめ、悪い事をしたと反省しています。シルバマークほど大きくなくても、車に付ける目印があれば誤解も少なくなると思いました。

横手にこんな特産品! ①

横手「りんごまま」さん 44歳

近くに住んでいるながら、りんごジャムや焼肉のたれの詰め合わせが販売されていることをまったく知りませんでした。増田といえば、アルミバック入りのりんごジュースというイメージで、他の地域の知人に送っていました。いつも大好評ですよ。

◆特集の取材でも同じようなご意見をいただいています。また、利用者の皆さんの元気な姿がとても印象的であり、私たちもその元気を分けてもらったような気がしています。

恵まれた環境に改めて感謝

平鹿「里帰り妊婦」さん 23歳

高校卒業と同時に上京し5年結婚して妊娠、そして里帰り出産の為に帰省。私の住んでいる埼玉には産婦人科がほとんどありませんが、秋田の県南には選べるほどの病院、クリニックがありとても驚いています。とても恵まれた地で出産できることに日々感謝しています。

遠くから応援しています

千葉県 佐藤淑子さん

「ごさへ」「ゆさ」。これは日本一短い会話だそうです。古里のなまりなつかし…。横手で生まれ18年間暮らし、根つこは今でも横手人です。合併により地域の情報が豊富になり楽しみにしています。こちらが晴天の日、横手は雪が降っていないかと気になります。布団干しをしています。これからは、かまくらをはじめ冬のイベントでにぎわうことでしょう。横手の皆さん寒さに負けず元気にお過ごし下さ

横手にこんな特産品! ②

横手 柴田昭雄さん

読者プレゼントの森のビールを見て「大森にこんなビールがあったの?しかも1升瓶入りまで!」と驚きました。

◆「特産品をどんどんPRしてほしい」という意見が多く寄せられています。私たちも知らない商品がまだまだあると思います。このコーナーで発掘していきたいと考えていますので、市民の皆さんからの情報提供もぜひお待ちしております。

【雄物川地域】市指定有形文化財(民俗)

きょうほうびなだいりびな
享保雛(内裏雛)

面長で能面のように静かで神秘的な表情をたたえる「享保雛」。
 享保雛は、江戸中期の享保年間(1716年～1736年)に流行したといわれる内裏雛で、現在のような段飾りになる前で、雛人形の前にお供えのごちそうなどを並べていたため大型に作られています。
 女雛は像高41cm(冠の高さ7cm)で、豪華な冠の装飾、胸に檀扇を持ち、五衣唐衣に似せた姿で朱の袴に綿を入れて大きく高く膨らませています。男雛は像高40cmで、束帯に似た装束で太刀を構え、現在は残っていませんが本来は笏を持っていたと思われます。
 享保雛は、幕末の頃、沼館地区の大地主であった佐々木儀右衛門が江戸で買い求めたものと言われ、同家の子孫から教育委員会に寄贈され、雄物川郷土資料館に保管・展示されています。
 享保雛は、平成11年に雄物川町の有形文化財(民俗)に指定されています。